

はじめに

このガイドブックは、あくまでも"目安"です。お子さんの症状・経過は、それぞれで異なり、急激に変わることもあります。急激に悪化することもありますので、お子さんをよく見てあげてください。

お子さんの急な病気やけがは、とても心配です。

熱を出したり、吐いたり、下痢をしたり、ひきつけを起こしたりなど、いつもとちょっとでも違う症状が見られると、あわててしまったり、迷ってしまうことは、よくあることと思います。

そこで、生後1ヶ月から就学前のお子さんを対象によく見られる症状やけがについて簡単に解説し、それぞれの対応を判断するための目安を、“小児救急ガイドブック”としてまとめました。

こどもの病気の全てが、一刻を争うものではありません。医療機関にかかる前の参考として、このガイドブックを役立てていただければ幸いと思っています。

近年話題になっていますが、小児科医は不足しています。限りある医療資源を有効に活用するためにも、このガイドブックを参考にいただければと考えております。